



竹野浜自治会だより1月版



令和7年1月25日発行
豊岡市竹野町竹野 2422-9

竹野浜自治会
電話：0796-20-1745

竹野浜自治会の会員の皆さん、新年あけましておめでとうございます。竹野浜自治会員の皆様におかれましては健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。今後も、自治会運営に対しまして一層ご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和7年(2025年) 竹野浜自治会 会長 與田 政則

昨年度より自治会員の皆様には会員名簿の作成に御協力を頂き、豊岡市行政より指導された、代議員制から会員制への変更への解決も最終規約改正を行わなければなりません。この規約改正は会員の総意が必要です。規約改正に伴う『竹野浜自治会臨時総会』を2月初めに(下記日程にて)開催予定をしておりますが、この冬は、インフルエンザ並びにコロナが猛威を振っています。したがって感染症拡大防止の観点から密集を避けるためにできるだけ少ない人数で進めたいと考えております。改めて会員さまには『臨時総会のご案内』をさせていただきますので、ご理解ご協力頂きますよう、何卒よろしくお願いいたします。

竹野浜自治会 臨時総会 開催日程

日時：2025年2月9日(日) 10:00～
場所：北前館 3階

★竹野浜自治会館 事務局の【FAX 番号】が変更になりました★

FAX: 0796-20-1558 TEL: 0796-20-1745

※電話番号に変更はありません

お手数をお掛けいたしますが、お控えの番号をご訂正くださいますようお願い申し上げます。

第5回

どうやって使うの？

イチから始める《スマホ教室》

日時：2月14日(金)
午後1時30分～午後2時30分
場所：竹野浜自治会館 集会室

主催：カルチャークラブ

移動通信端末診断士 アドバイザー 村井 整

質問だけでも受け付
けます！お気軽に聞きに
来てくださいね！



自由参加 無料

《ちょっと“竹野”》 [北前船って－3] ー 北前船が運んだもの ー

今回は、北前船で運ばれた物や竹野町の特産物について紹介します。

北前船は『大坂発蝦夷地方面行き』と『蝦夷地方面発大阪行き』の航路がありました。ここで『諸国御客船張』の中より、竹野村廻船群の状況を見るに、動向や稼働の一部ですが、「弁天丸 船主・船戸次郎作様 船頭・常治朗様 文化五年(1822)二月二七日、登り船として入津(入港)、石州浜田・外ノ浦「但馬屋」の客船として入津。米を売り、楮・半紙・鉄を買い出船しています。この湊に入津下竹野浜船は、二四六隻という記録がありますが、日本海を西に帆走し浜田湊に入津することを「登り入津」といい、竹野廻船が運んだ(売り商品)、米、種油、大豆、そうめん、昆布、たばこ、干鰯、等、(買い商品)としては、鉄、半紙、生蠟、等。瀬戸内や九州方面から浜田湊に入津することを「下り入津」といい、(売り商品)は、塩、そうめん、麦安、石炭、干鰯、等。(買い商品)は、生蠟、焼物、半紙、鉄、楮、等。たくさんの品物が取引されていました。

竹野から北前船で運んだ商品は、数が少なく、木炭、干鰯、竹、青井石(凝灰岩)があります。しかしこの青井石が取引されて石切り船が往来したのは明治時代が中心だったようです。この後、これもより堅牢で美しい“花崗岩”などに変わっていきました。

先月のおたよりで一部紹介させていただき重複になりますが、伝承者が途絶えそうな『相撲甚句』です。北前船が盛んであった頃、竹野浜でも『大坂相撲』の勧進が行われました。『下り松莊兵衛』、『賀島山勘三郎』等の力士が船主にひいきにされました。そしてこの相撲甚句は、当時同じく相撲が盛んであった秋田から伝えられたと聞きます。